

みなさんこんばんは。ようこそおいでいただきまして、ありがとうございます。北條先生、お久しぶりでございます。ようこそいらっしゃいました。

私共のクラブも一年近く経過しましたが、種々経験し、運営して参りました。ロータリーというのは職業奉仕の精神を共有することが最低の条件であります。その精神は、我々が業務をこなす上で、お客様に喜んでもらえる仕事をする。もう一回頼みたい・紹介したいと思っただけのような業を成すのが職業奉仕の原点であります。これは現在進行形の方、それから北條先生のように過去に行い現在は指導されている方、今からロータリーに入会して成功を目指す方、いずれも同じ精神が宿っているのではないかと思います。

職業奉仕の精神は、現在、未来、過去というかたちで構成されているのですが、この一点を通じて団結してやっていくというのがロータリーであると思っております。世の中のために、人のために役立つ仕事をする、喜んでいただけるための仕事を成す事が一家繁栄、会社繁栄の基本であると思っております。もしもこれが逆であれば一家崩壊し、会社繁栄はありません。このふたつに一つ、善の方を選んで我々は日々頑張っていかなければならないと思っております。

五大奉仕の他にも地区活動のひとつですが、10月にIMがございましたけれども、「こういうIMをやろう」と議論をする場が全く無いのです。ホストクラブが決めた通り行うだけで、この前のIMにしても増強がテーマで、隣の地区からパストガバナーを呼んで、叱咤激励を受けたのですが、ちょっと申したき議はあるのです。「同じ道ばかりを通過して増強できるか」「同じ池の中ばかりで魚を獲ってどうするのだ」そんな話を我々は聞きに行ったのではないのです。「増強しなければいけない、何のためにしなければいけないのか」これを私共一人ひとりが心に共有す為のIMであってほしかったと思うのです。

今月24日、25日はホテルニューオータニで地区大会がございまして。クラブでは12月末に一人当たり9,000円支払いました。五十数名ですから約50万円位払ったのです。その50万円で何ができますかと、高野実行委員長に聞きました。そしたら何もできないそうでございます。本会議も出席できない、パンフレットももらえない。もう1回1万円払わないと何も無いと言うのです。では9,000円は一体何なのだ。3000人×9000円=2700万円ですよ。じゃ「どぶに金を捨てるのと同じじゃないか」と私は、申し上げたのです。

やはりニューオータニですか、内容が徐々にわかってくるのですが、どういうかたちでやるのだ。その2,700万円があれば東京ドームを2~3日借りられます。東京ドームを借りてやればいい。東京ドームだったら何でもできるのですよ。NHKやTBS等のTV局を呼んで東京都民他、日本中からロータリーの良さを知りたい人を東京ドームに集めて我々の勉強会、また奉仕の精神を会員だけではなく、広げ認識を深めることが、地区大会の使命だと思っております。ここで食べるから1万円かかる・飲むから1万円かかるという事に重点を置くより、我々の活動本質を電波に乗せて全国・世界に我々2580地区の精神を訴えるべきではないか。そうすれば波を打ったように地区会員3,000人を切るかどうかで資金的におおろろするような運営が、5,000人だ、8,000人だ、1万人だと。もうこの辺で選ぶ側に回ろうかという位に余裕をもった地区の運営をやらなければいけないと思うのです。

地区大会に私共のクラブは10名くらいしか登録してないのです。しかし、もう9,000円払っているのです。本会議には出れると思う会員は多いのです。私も本会議までは出席出来ると思っておりました。

パンフレット位はもらえらと思っていました。ところがあと 1 万円払って登録しないと絶対通さないと言うのです。高野委員長はそう言っていました。やり方を考えるべきではないか。まあ、そういうこともあります。

地区の予算もそうです。PETS開催時に予算は決まりました。だから出してくださいと当たり前のようにガバナー事務所の女性は言うのです。3 月のPETSには宮代会長エレクトが出席しますが、何も分からないままに教育を受けて、予算はこれだ、わかったね。はい異議なし。承認。議論も何もありません。少なくとも予算案を提出する 1 カ月前にはクラブみんなて議論をするような時間がありませんと、お金を払う甲斐がないんです。

ガバナーエレクトの上山さんにはそういう騙まし討ちのような予算の決め方はやめてください。少なくとも分担金とか地区大会の 9,000 円の費用決済を出す時は、1 カ月くらい前にはクラブに通知してくださいと申し上げております。多分、上山エレクトはそういうことを守りながら、一人ひとりのロータリアンの熱い気持ちを受け止めて、お金の大切さを認識されおやりになるのではと私は思います。

ガバナーの行動予算は年間 1,000 万円。地区会員一人当 3,000 円以上です。当たり前のように使ってもらっては困るのです。私達は其々事業営んでいます、1000 万円位経費で落とせるのです。交通費が殆どですからね。ガバナーたるものは我々の 3,000 円にすぎりつくような精神ではいけないと思うのです。

予算は予算ですからお金はなくても志がある、教養が豊かであるというような方がガバナーになる場合には、それはやむをえないかも知れません。しかし皆がみんな、そういうことでは困ると思うのです。ガバナーたる者はお金のある人はポンと 2,000 万円、3,000 万円出してでも、こうやろうじゃないかというくらいの気持ちがないとね。ない人はしょうがないですよ。そういう方は徳を積みば良いのです。

というようなことを申し上げながらIMの反省、地区大会も 10 日後に迫っていますが、我々は「野に咲く花」かもしれませんが、一步一步環境を良くするために、ロータリーのクラブの魅力を市民の方にわかっていただく為に我々は活動しているのです。私の熱き精神をご理解いただいて、一人ひとりが自覚して、そして喜んでお金を払いたい、そういうロータリークラブに今後益々やっていければと思う次第でございます。今日の挨拶に代えさせていただきます。